

第 39 回 建設業経理士検定試験

1 級 財務分析 模範解答

弥生カレッジ + G P T

2026 年 9 月 13 日作成

※本試験問題の写真をもとに作成した独自の模範解答です。公式解答公表前のため、最終的には公式解答・解答速報と照合してください。

計算問題は問題資料の数値から算定し、途中計算が追える形で示しています。端数は一般的な解答欄を想定して処理しています。

第 1 問 建設業の損益分岐点分析

問 1 目標利益達成のための完成工事高

目標利益を達成するための完成工事高は、固定費に目標利益を加えた額を限界利益率で除して求める。限界利益率は、完成工事高から変動費を控除した限界利益を完成工事高で除した割合である。したがって、算式は「(固定費 + 目標利益) ÷ 限界利益率」となる。目標利益が税引後利益で示されている場合は、実効税率を用いて税引前利益に換算したうえで固定費に加える。

問 2 安全余裕率と損益分岐点比率

安全余裕率は、実際完成工事高が損益分岐点完成工事高をどれだけ上回っているかを示す割合であり、「(実際完成工事高 - 損益分岐点完成工事高) ÷ 実際完成工事高」で求める。損益分岐点比率は「損益分岐点完成工事高 ÷ 実際完成工事高」で求める。両者の合計は 100% となるため、安全余裕率が高いほど損益分岐点比率は低く、収益の安全性が高い。

第 2 問 企業評価の手法

空欄	記号	解答
1	キ	指数
2	ス	図形
3	カ	ウォール
4	エ	考課
5	カ	ウォール
6	ク	標準
7	シ	100
8	ア	実績

9	ネ	レーダー・チャート
10	ナ	平均
11	オ	アルトマン
12	セ	純資産価額

第3問 財務諸表数値の算定

- 負債合計 256,620、自己資本比率 35% より、総資本 $= 256,620 \div 65\% = 394,800$ 。したがって自己資本 $= 394,800 \times 35\% = 138,180$ 。
- 総資本経常利益率 2.50% より、経常利益 $= 394,800 \times 2.50\% = 9,870$ 。
- 金利負担能力 7 倍より、他人資本利息 $= 9,870 \div (7 - 1) = 1,645$ 。したがって (D) $= 1,645 - \text{支払利息 } 1,200 = 445$ 。
- 営業に直接関係しない投資有価証券 50,000 を控除した経営資本は 344,800。経営資本回転期間 9.80 月より、完成工事高 $= 344,800 \div 9.80 \times 12 = 422,204$ 。
- 有利子負債月商倍率 1.20 月より、有利子負債 $= 422,204 \div 12 \times 1.20 = 42,220$ 。長期借入金 $= 42,220 - \text{短期借入金 } 18,380 = 23,840$ 。
- 固定長期適合比率 90% より、固定資産 $= (\text{自己資本 } 138,180 + \text{固定負債 } 23,840) \times 90\% = 145,818$ 。流動資産 $= 394,800 - 145,818 = 248,982$ 、流動負債 $= 256,620 - 23,840 = 232,780$ 。
- 修正流動負債 $= 232,780 - \text{未成工事受入金 } 33,000 = 199,780$ 。修正流動資産 $= 199,780 \times 110\% = 219,758$ 。よって (B) 未成工事支出金 $= 248,982 - 219,758 = 29,224$ 。
- 当座資産 $= 199,780 \times 109.70\% = 219,159$ 。現金預金 $= 422,204 \div 12 \times 1.50 = 52,776$ 。したがって (A) 受取手形 $= 219,159 - 52,776 - \text{完成工事未収入金 } 103,620 = 62,763$ 。
- 完成工事総利益 $= 9,870 + 31,460 - (1,800 + 3,180) + 1,645 = 37,995$ 。(C) 完成工事原価 $= 422,204 - 37,995 = 384,209$ 。

項目	解答
A 受取手形	62,763 百万円
B 未成工事支出金	29,224 百万円
C 完成工事原価	384,209 百万円
D その他営業外費用	445 百万円
支払勘定回転率	$384,209 \div 174,400 = 2.20$ 回

支払勘定 $= \text{流動負債 } 232,780 - \text{短期借入金 } 18,380 - \text{未払法人税等 } 7,000 - \text{未成工事受入金 } 33,000 = 174,400$ 。

第4問 財務分析

まず、完成工事高営業利益率 6.2%より営業利益=21,350,000×6.2%=1,323,700。完成工事総利益=1,323,700+販売費及び一般管理費 1,456,800=2,780,500。完成工事原価=21,350,000-2,780,500=18,569,500。したがって外注費=18,569,500-材料費 1,345,000-労務費 284,000-経費 1,238,000=15,702,500。

設問	模範解答と計算過程
問1 付加価値率	付加価値=21,350,000-(1,345,000+284,000+15,702,500+68,000)=3,950,500 付加価値率=3,950,500÷21,350,000×100=18.50%
問2 労働生産性	3,950,500÷(275人+50人)=12,155.38千円/人
問3 建設仮勘定	設備投資効率=付加価値÷(有形固定資産-建設仮勘定)×100 建設仮勘定=3,850,000-3,950,500÷105.75%=114,303千円
問4 分解要因	[資本集約度] 3,850,000÷325人=11,846.15千円/人
問5 損益分岐点比率	変動費=材料費 1,345,000+労務外注費 284,000+外注費 15,702,500=17,331,500 固定費=経費 1,238,000+販管費 1,456,800+支払利息 326,000+為替差損 768,000-受取利息配当金 110,000=3,678,800 損益分岐点比率={3,678,800÷(1-17,331,500÷21,350,000)}÷21,350,000×100=91.55%

第5問 A建設株式会社の財務分析

問1 諸比率

記号	比率	計算式	解答
A	自己資本当期純利益率	$116,150 \div \{ (1,580,500 + 1,414,300) \div 2 \} \times 100$	7.76%
B	立替工事高比率	$(30,300 + 3,439,500 + 213,600 - 303,900) \div 7,274,880 \times 100$	46.45%
C	運転資本保有月数	$\{ \text{平均流動資産 } 4,437,400 - \text{平均流動負債 } 3,374,100 \} \div \text{月商 } 606,240$	1.75 月
D	借入金依存度	$(\text{短期借入金 } 570,100 + \text{CP}80,000 + \text{社債 } 410,000 + \text{長期借入金 } 585,000) \div \text{総資本 } 6,024,500 \times 100$	27.31%
E	棚卸資産回転率	$7,274,880 \div \text{平均棚卸資産 } 226,400$	32.13 回
F	営業利益増減率	$(216,900 - 291,800) \div 291,800 \times 100$	Y 25.67%
G	完成工事高キャッシュ・フロー率	$\triangle 233,300 \div 7,274,880 \times 100$	Y 3.21%
H	純支払利息比率	$(23,500 + 27,000 + 1,200 - 4,170) \div 7,274,880 \times 100$	0.65%
I	資本集約度	平均総資本 5,755,550 ÷ 平均職員数 124 人	46,415.73 千円/人
J	負債比率	$4,610,200 \div 1,414,300 \times 100$	325.97%

注：B は、立替工事高＝受取手形＋電子記録債権＋完成工事未収入金＋未成工事支出金－未成工事受入金として算定しています。

問 2 文章穴埋め

空欄	記号	解答
1	イ	投下資本
2	サ	資本利益率
3	コ	事業利益
4	ム	4.02
5	セ	資本回転率
6	チ	高い
7	ソ	自己資本回転率
8	ネ	総資本
9	カ	売上総利益
10	ヤ	8.27

空欄 4：事業利益＝経常利益 179,950＋支払利息 23,500＋社債利息 27,000＋他人資本に付する利息 1,200＝231,650。
231,650÷平均総資本 5,755,550×100＝4.02%。

空欄 10：売上総利益 475,800÷平均総資本 5,755,550×100＝8.27%。

会計アカデミー

建設業経理士 1 級 合格講座

キャンペーン実施中

財務諸表・原価計算・財務分析の 3 科目を、基本講義＋過去問ゼミで効率よく学習。理論添削、YouTube ライブ講座、月 2 回の無料質問会、試験直前オンライン合宿など、合格までの学習をサポートします。

講座	キャンペーン価格
3 セット合格パック	38,500 円
2 セット合格パック	28,600 円
1 科目合格パック	18,700 円

詳しい講座内容・最新のキャンペーン情報はこちら

<https://kaikei-academy.com/kensetsutop-1/>



スマートフォンのカメラで QR コードを読み取ってください。

※価格・キャンペーン内容は変更される場合があります。最新情報は上記 Web サイトでご確認ください。

建設業経理士1級・合格プログラム

①	基本講義 (オリジナルレジュメ) 財務諸表24回 原価計算18回 財務分析17回	各平均 45分
②	過去問ゼミ TAC出版「合格するための過去問解説」 各10～19回を20回以降追加添削点 27～36回の個別添削点を追加！ 最新の過去問集に掲載されていないものは問題と解説がダウンロード可能です	8時間 +
③	理論対策 (財務諸表6時間・原価計算3時間) 概説書の記述問題をカンゼンズ解説	
④	添削 オンライン添削会 試験の前月	
⑤	オンライン合宿	
⑥	財務分析3問・4問強化塾	
⑦	意思決定強化塾(過去問研究)	
⑧	概説書解きまくり講座	
⑨	概説書索引&練習問題 徹底解説	
⑩	スマホ学習ツール (スマホではじめる建設業経理士1級)	
⑪	ライブ質問会 (月2回)	



建設業経理士1級 3セット 合格パック

35,000円 (税込: 38,500円)

28,000円 (税込: 30,800円)



建設業経理士1級 2セット 合格パック

26,000円 (税込: 28,600円)

20,800円 (税込: 22,880円)



建設業経理士1級 (財務諸表) 合格パック

18,000円 (税込: 19,800円)

14,400円 (税込: 15,840円)



建設業経理士1級 (原価計算) 合格パック

18,000円 (税込: 19,800円)

14,400円 (税込: 15,840円)



建設業経理士1級 (財務分析) 合格パック

17,000円 (税込: 18,700円)

13,600円 (税込: 14,960円)

オンライン添削会付きで
この価格!!!



32,000円 (税込: 35,200円)

23,000円 (税込: 25,300円)

15,000円 (税込: 16,500円)

15,000円 (税込: 16,500円)

14,000円 (税込: 15,400円)

9月末まで **キャンペーン①** 価格

10月末まで **キャンペーン②** 価格

安くても内容充実